

課所室業務棚卸総括表

平成16年度(前期)行政経営会議用 様式2

年度	16	部局	課所室	担当(係)	作成者(職)	(氏名)	(連絡先)	棚卸表コード	No.
作成日	H16.7.12	福祉保健部	介護保険課	企画管理担当	-	-	-	2福介01	12

業務名称	介護保険制度運営業務	成果指標	実績(H15)	目標(H17)	人工数(人)	予算(千円)
上位目的	地域に根ざした社会保険の充実が図られる。	事業計画給付費との実績率	89.9%	100%	23.0	15,112,818
担当業務目的	利用者が安心してサービス利用ができるようにするため、適正な保険給付と財源確保により健全な事業運営に努める。	保険料収納率	96.0%	98.0%	8.0	14,921,856

活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル))				事業費(千円)	備考欄
活動における指標	実績(H15)	目標(H17)			
担当業務目的達成のための主な手段(4桁レベル)					
01 介護保険事業計画を策定する				182	(1)第2期介護保険事業計画(保険料)の見直し 市町合併に伴い平成17年度から介護保険料の均一賦課に向けて、平成16年度中に平成17年度1年間の介護保険事業計画を策定する。 (2)第3期介護保険事業計画の策定作業 第2期事業計画(平成15年度から平成19年度)は、3年ごとに見直しすることとされており、平成18年度から平成22年度を計画期間として、平成17年度末までに新たに第3期事業計画を策定する必要がある。
事業計画の介護給付費との実績率	89.9%	100%			
第2期介護保険事業計画の見直しをする 介護サービス見込数と利用実績の比較検証と内容を分析する 市民等へ意見・要望のアンケート調査を実施する 次期介護保険事業計画策定に向けて審議会等を開催する					
02 介護保険制度の安定的運営のため財源を確保する				17,281	(1)保険料収納率の向上 15年度の収納率は、特別徴収が100%、普通徴収が90.1%となっており、普通徴収者の収納率は、年々下がってきている。介護保険は、社会全体で介護の負担を支え合う制度であり、滞納者については収納者に対して負担の公平を欠くものであることから、収納率の向上を図る必要がある。 ・滞納者に対しての納付相談、訪問徴収等のため専門の要員を確保する必要がある。
口座振替率	33.0%	45.0%			
適正・公平な保険料を賦課する 納期内納付を推進する 広報あきた等によるPR、広報活動を充実する 保険料滞納に関する情報を提供する 滞納者に対し電話催告を行う(強調月間設定) 口座振替の勧奨を推進する(65歳到達者等被保険者資格取得者)					
03 被保険者の適正な資格管理をする				8,584	
適正処理	100%	100%			
関係各部署等との連携・連絡を徹底する 受給者資格管理を徹底する(受給資格のある転出者への制度の周知)					
04 システムによる事務処理の効率化を図る				65,180	(1)介護報酬改定に伴うシステム改修 平成18年度より介護報酬の改定があるため、17年度中にシステム改修を行う。 (2)事務処理システムの外部委託 システム運用に専門の職員が張り付いているが、運用が困難になっているとともに通常業務等は時間外で対応している状況であり、このシステム運用を17年度より外部委託することで安定的な運用が図られる。
適正処理	100%	100%			
ベンダーとの連携を密にする 安全・適切な情報管理を行う					

活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル))			事業費 (千円)	備考欄
活動における指標	実績(H15)	目標(H17)		
担当業務目的達成のための主な手段(4桁レベル)				
05 各種支給費を適正に給付する			14,830,629	(1)ホームヘルプサービス低所得利用者負担軽減対策事業 国の特別対策事業により、ホームヘルプサービスの通常10%の自己負担を、H12～14年度3%、H15～16年度6%(障害者は3%)とし、利用者の負担の軽減を図っている。 なお、平成17年度からは本事業の対象となっている高齢者(障害者を除く)の自己負担は通常の10%になり、事業の対象外となる。
適正処理	100%	100%		
各種給付申請関係の広報活動(時期)を適切に行う 申請・請求に対し適正な処理をする 苦情等に対し適切な対応をする 国保連から提供される給付実績を活用した情報を介護給付適正化に活用する				